建築･都市環境科学（環境デザイン）
リジャル研究室

～研究室の特色～

■気候風土に適合した建築・都市環境計画

■新たな伝統的建築の提案・国際的な研究活動

■3年生が研究者として学会デビュー

～共同研究～

■東京大学生産技術研究所
緑地のヒートアイランド緩和効果やインドの快適性に関する研究

■東京ガス
居住状態における床暖房の快適性評価に関する研究

■岐阜工業高等専門学校
岐阜の住宅における熱的快適性に関する研究

■Oxford Brookes大学(英国)
熱的快適性や環境調節行動に関する研究

～主な研究テーマ～

〈建築環境〉

■伝統的建築の温熱環境の評価と改善

■近代建築の温熱環境に関する研究

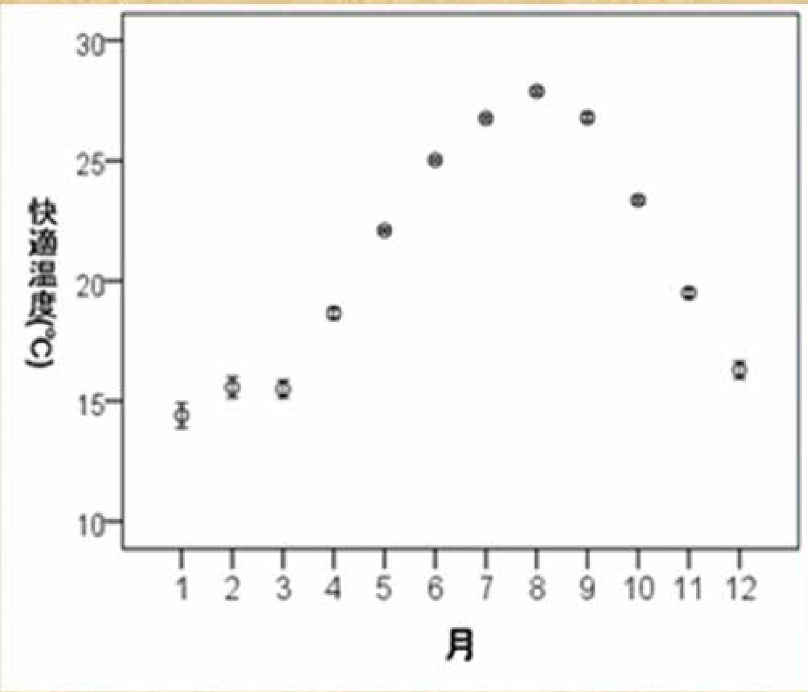
↑ネパールの伝統的建築物

↑日本の伝統的建築物

〈熱的快適性〉

■人々の快適温度に関する研究

■高温多湿気候における適応モデルの開発



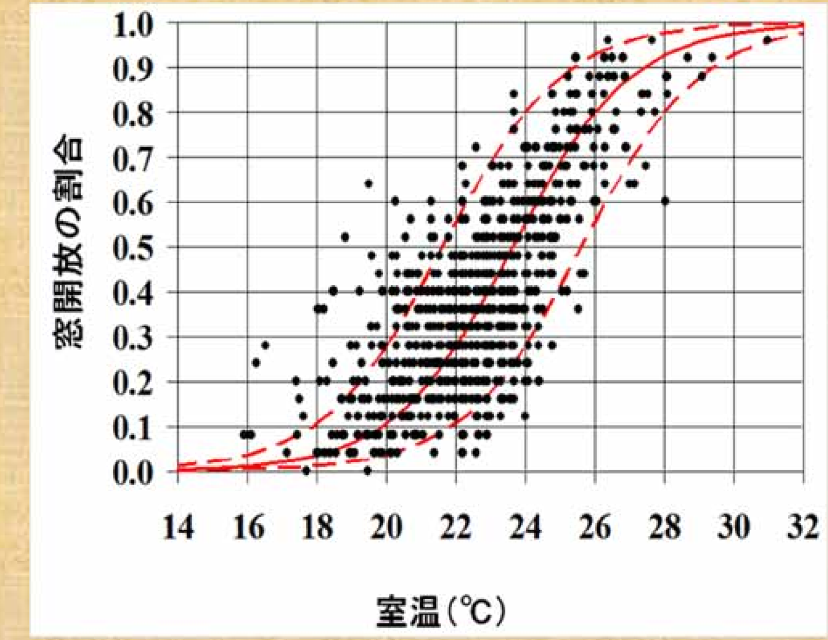
←図には自然換気時における岐阜の住宅の快適温度の月別変動を示しています（申告数=13,471）。8月の快適温度は27.9℃であり、1月より13.5℃高いです。居住者が気候風土に適応しながら暮らしているため、快適温度に大きな季節差があります。

〈環境調節行動〉

■窓開閉と通風に関する研究

■冷暖房利用とエネルギー消費に関する研究

↑窓開放



↑英国の窓開放行動

〈都市環境〉

■路地の温熱環境の評価と改善

■大規模緑地のヒートアイランド緩和効果の検討

↑緑地なしの気温

↑緑地ありの気温

建築・都市環境科学（環境デザイン）
リジャル研究室

活動内容

事例研究・卒業研究について

日時　　毎週**水**曜日

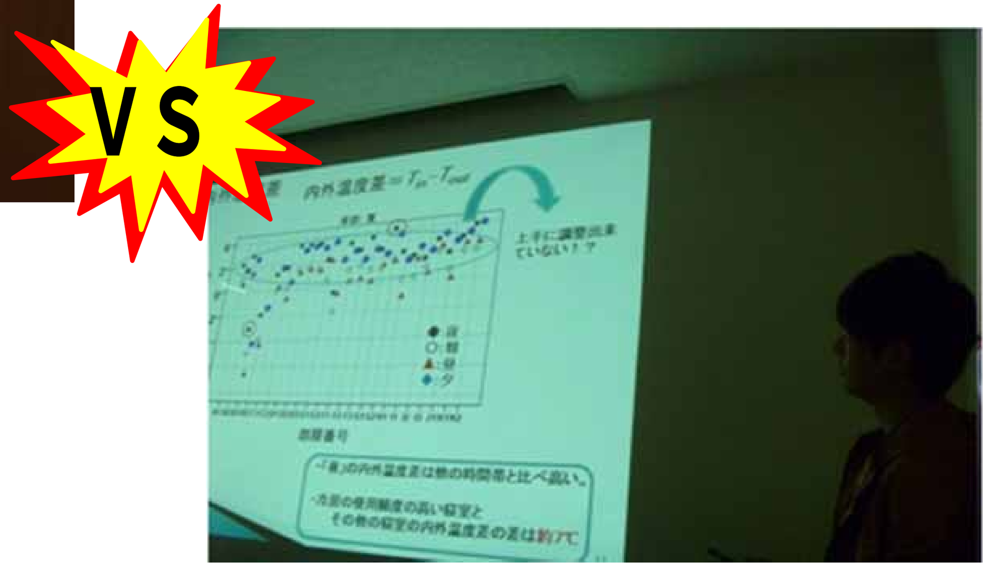
内容
　事例研究・卒業研究の完成に向けて発表をし、意見を出し合い、常により良い研究結果を生み出す努力をしています！！
　去年、先輩の中には、**川本賞・学術奨励賞**という賞を頂くことが出来ました。

5月～新3年生の歓迎会～

新しくリジャル研究室に仲間入りした3年生と4年生が仲良くなるために歓迎会をします！
杯を交わせば、すぐに仲良くなれる！？

ディベート中！

リジャル先生



9月　待望のゼミ合宿！

ゼミ合宿では実際に体を動かし自ら研究を行ったり、自然と戯れることが出来ました。
今年は名古屋に行って4年生は論文の発表を行うため、前々から準備をして、本番に臨みます。
その後、3年生と合流し、食い倒れツアーを慣行します。

決戦の日　論文発表！　IN日本建築学会　3月

↑論文発表会

永田君の論文発表の感想

初めての経験で、とても緊張してしまったが、他の研究室ではなかなか体験できない。そんな体験ができて、一回り成長することができたと思う。また、様々な質問を頂き、研究に役立てることができた。
我らが恩師、リジャル先生の語録の「研究が行き詰ったら、学会で発表をするといい」という真意がわかった。
9月にまた発表があるので、今回は前回の経験を活かしたい！

↓イギリス国際会議

国際会議での発表

研究室ではイギリスのWindsorやパキスタンで開催された国際会議に参加し、自身の研究を**英語**で発表と国際交流を行いました。今後もネパールやチェコで開催される国際会議で発表する予定です。

4年後期　ゼミ長　立候補予定）

リジャル研究室

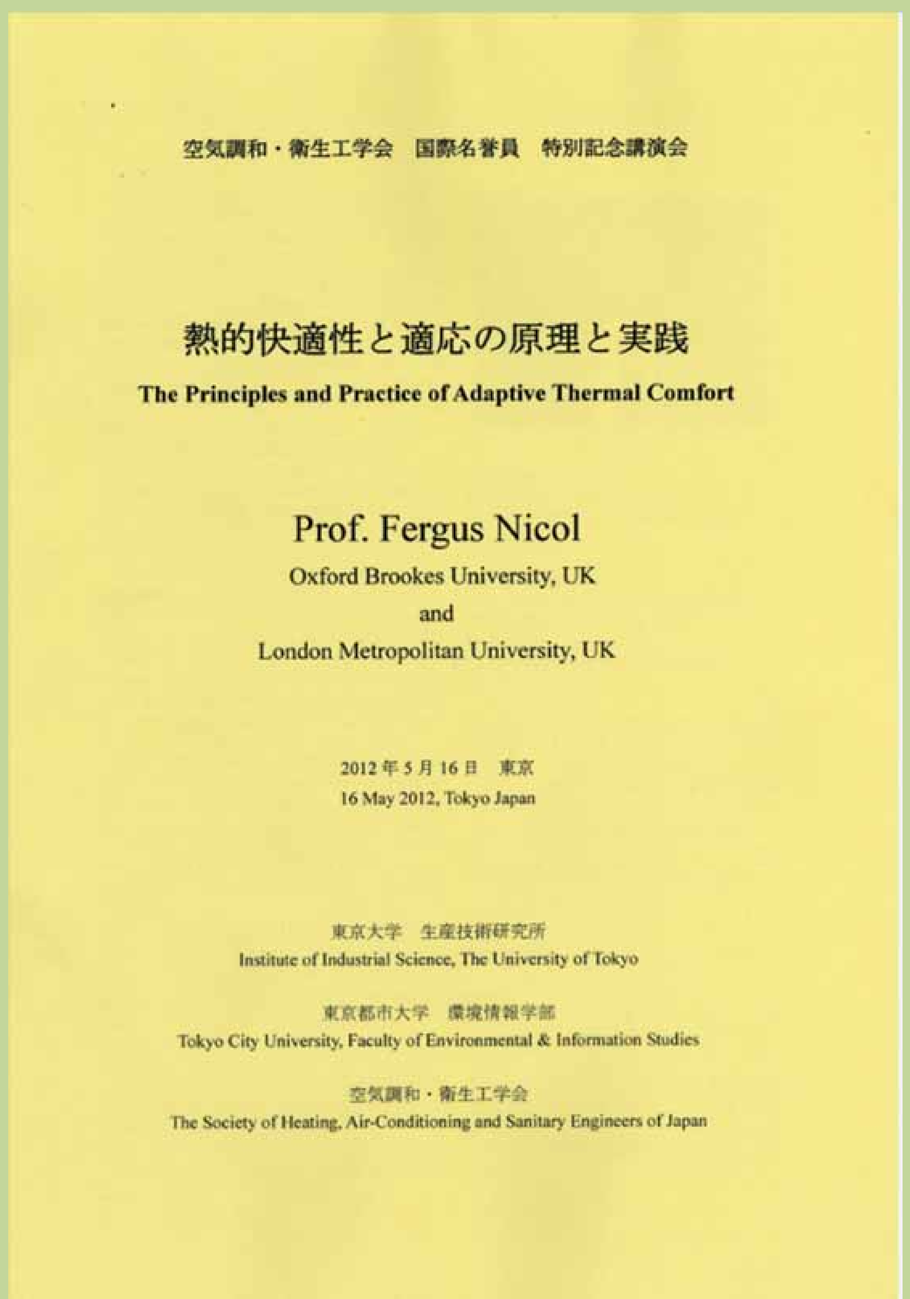
New students

活動内容

- **4月**
  - 歓迎会・中間発表会・OB会などを通して同期・先輩・先生と仲良くなった。
- **5月**
  - 本学部や東京大学生産技術研究所で開催した英国のNicol先生の講演会に参加した。Nicol先生の講演会の資料も日本語に訳した。
- **6月**
  - 東京大学生研公開に参加し、研究室展示、人工気候室などを見学し、<u>風洞実験室</u>で20m/sの風を体験した。
  - 横浜際で研究室展示を行った。
- **7月**
  - 教科書や数多くの論文を読んで、事例研究のテーマを考えた。
  - 第9回神奈川産学チャレンジプログラムに応募し、企業と共同研究を行っている。

本学の講演の様子

東大の講演の様子


空気調和・衛生工学会　国際名誉員　特別記念講演会

熱的快適性と適応の原理と実践

The Principles and Practice of Adaptive Thermal Comfort

Prof. Fergus Nicol

Oxford Brookes University, UK

and

London Metropolitan University, UK

2012年5月16日　東京

16 May 2012, Tokyo Japan

東京大学　生産技術研究所

Institute of Industrial Science, The University of Tokyo

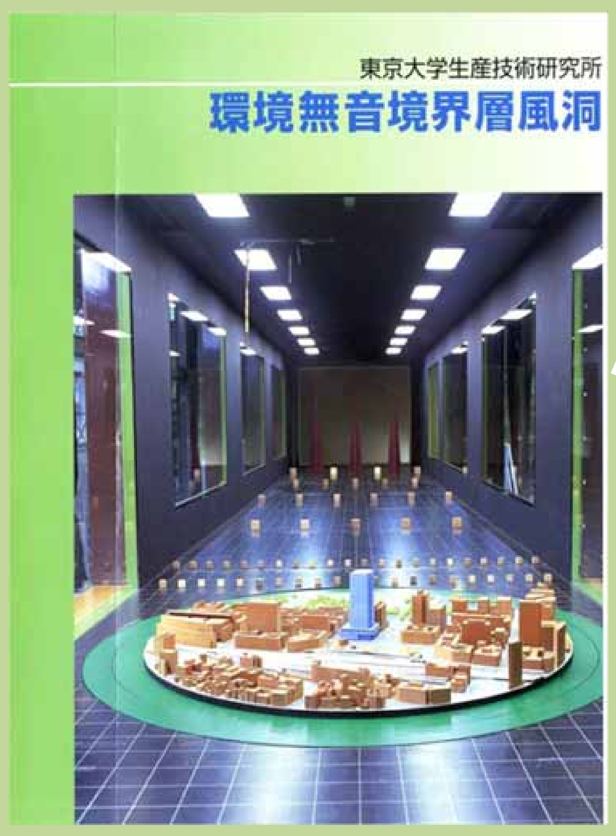
東京都市大学　環境情報学部

Tokyo City University, Faculty of Environmental & Information Studies

空気調和・衛生工学会

The Society of Heating, Air-Conditioning and Sanitary Engineers of Japan

学会発表



強風体験

3年生の研究活動

- 関東地方の30軒の住宅で、温熱環境実測と快適感調査を行うため、機器の準備や申告票の作成を行った。
- リビングや寝室の温度、湿度とグローブ温度の測定や温冷感・快適感・着衣量などの快適性調査を開始した。
- これらのデータをまとめて、来年の1月中旬に日本建築学会に4ページの論文投稿し、3月上旬に口頭発表する予定である。

★★★リビングでの申告票★★★

実測風景